

リスク下の意思決定と保険経済学

准教授 藤井陽一朗

1. 研究内容

保険分野の分析手法は、経済学・心理学などのアプローチを取り入れながら急速に発展しています。藤井陽一朗演習室では、これらのアプローチを習得しながら、われわれの身の回りにある様々なリスクに、保険を通してどのように備えるかを考えていきます。

2. ゼミの進め方

≪ 2年次 ≫

春学期：科学的な思考方法を習得することを中心に、テキストを輪読していきます。

秋学期：リスク下の合理的意思決定とは何かを議論していきます。また、ゼミ内でテーマを決めてプレゼン・コンペを実施します。

※夏季・春季休暇中に他大学との合宿を実施する予定です。

≪ 3年次 ≫

春学期：日銀グランプリなど学外で開催されるコンペに参加するための準備をおこないます。

秋学期：学外でのコンペの準備と並行して卒業論文に向けたショートペーパーを作成します。

※夏季・春季休暇中に他大学との合宿を実施する予定です。

≪ 4年次 ≫

春学期：卒業論文のテーマを決定し、データの収集・分析を進めます。

秋学期：卒業論文の執筆と指導をおこないます。

※夏季・春季休暇中に他大学との合宿を実施する予定です。

3. 教材

セイラー (2016) 「行動経済学の逆襲」 早川書房

アセモグル, レイブソン, リスト (2020) 「ミクロ経済学」 東洋経済新報社

家守信善編著 (2020) 「はじめて学ぶ保険のしくみ」 中央経済社

ほか (演習時に適宜指示します)

4. 成績の評価方法

出席を含めた演習への貢献、課題への取り組み状況などを総合的に評価します。

5. ゼミ入室試験

選考方法につきましては、Oh-o!Meiji にて、後日連絡します。

6. その他

ゼミでは卒業時に各人が定めたテーマに沿って卒業論文を仕上げ、公聴会で報告することが求められます。受け身の勉強でなく、我が国の保険分野で新しい伝統を作ろうという志を持った学生の参加を期待します。